

S-Stage ボアアップキット 125cc ハイコンプ 取扱説明書

製品番号	01-05-0162 (カム無) 01-05-0163 (カム付)
------	--------------------------------------

適応車種	スーパーカブ 110 (JA44-100001 ~) クロスカブ 110 (JA45-100001 ~)
------	---

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

使用燃料についてのご注意

当製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前にフューエルタンクに残っていたガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

FI コントローラーについての注意

当製品を取り付け、ノーマル ECU のまま又は、弊社製であっても FI コン 2 にて使用されるとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ず弊社 “FI コン TYPE-e” を同時装着し、ご使用下さい。

◎当製品はクローズド競技用として開発した製品です。(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

◎当製品の取り付けには上記適合車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。

◎取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

◎必ず慣らし運転を行って下さい。

◎当製品を取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には不向きです。

◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

◎シリンダーへッドは、定期的に必ず規定トルクで増し締めを行って下さい。

～特 徴～

○ノーマルシリンダーへッドを使用し、ボアアップするキットです。

○ピストン径をφ 50mm から φ 53.5mm にボアアップし排気量を 125cc に、圧縮比を 9.0:1 から 12.5:1 にアップさせます。

　ハイコンプ化させる事で力強いトルクが感じられます。付属のカムによりボアアップの出力を有効に引き出します。

○弊社製エキゾーストマフラーとの組み合わせにより更なるパワーアップが望めます。

▲ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■当製品はクローズド競技用として開発した製品です。

(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。

（部品の脱落の原因となります。）

▲ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。

（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

SPECIAL PARTS
TAKEGAWA



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ピストン 53.5mm	1	00-01-0180 (ピストンピン付)
2	ピストンリングセット	1	01-15-016
3	ピストンピン 13x36	1	00-01-0091 (サークリップ付)
4	ピストンピンサークリップ 13mm	2	00-01-0003 (6ヶ入り)
5	シリンダー	1	01-01-0118
6	シリンダーヘッドガスケット	1	01-13-0127
7	シリンダーガスケット	1	
8	スポーツカムシャフト	1	01-08-0180

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さい様お願い致します。

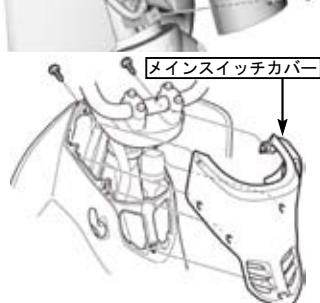
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

◇水平な場所でセンタースタンドを立て、車両をしっかりと安定させる。

●外装部品の取り外し

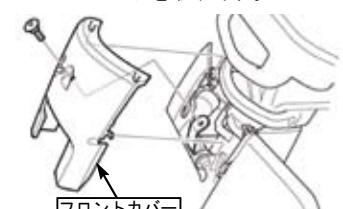
〈スーパーカブ 110(JA44)の場合〉

◇純正サービスマニュアルを参考にしてフロントカバー、メインスイッチカバー、レッグシールド、センターカバーを取り外す。



〈クロスカブ 110(JA45)の場合〉

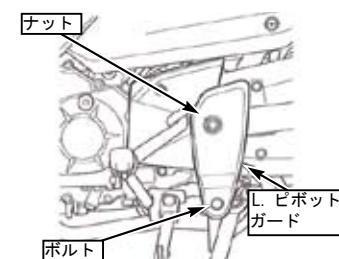
◇純正サービスマニュアルを参考にしてフロントカバー、メインパイプセンターカバー、メインパイプカバーの左右を取り外す。



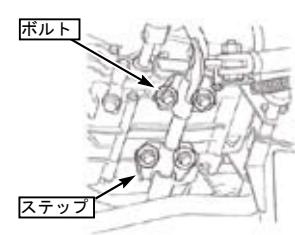
●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り外し

※エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従う事。

◇ボルト及びナットを取り外し、L. ピボットガードを取り外す。

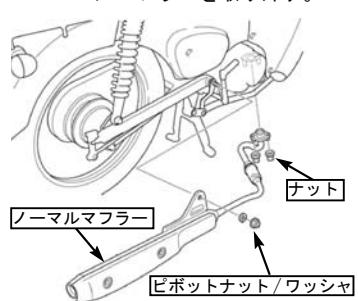


◇ボルト4本を取り外し、ステップを取り外す。



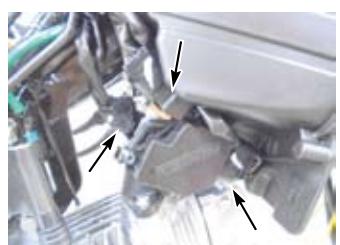
◇ヘッド側のエキゾーストパイプナット2個を取り外す。

◇ピボットナット/ワッシャを取り外し、ピボットボルトを押し込み、ノーマルマフラーを取り外す。



●インシュレーター/スロットルボディー/エアクリーナーケースの取り外し

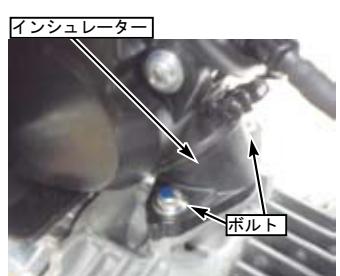
◇インジェクタ2Pカプラ、IACバルブ4Pカプラ、センサーユニット5Pカプラの接続を外す。



◇エアクリーナーケースに取り付けているワイヤーハーネスクラップを取り外す。エアクリーナーケースのボルト2本を取り外す。

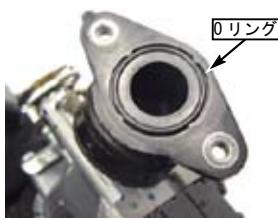


◇インシュレーターのボルト2本を取り外す。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- ◇インシュレーターのOリングを取り外しておく。

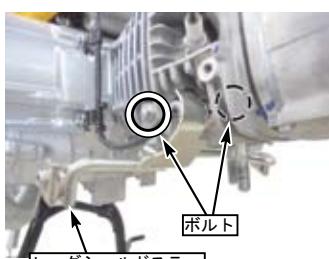


- ◇インシュレーター / スロットルボディー / エアクリーナーケースをエンジンとフレームの間から抜き取り、フューエルホースに負担が掛からないようにフレーム等に置いておく。

●シリンダーヘッドの取り外し

- ◇スパークプラグキャップを取り外す。

- ◇ボルト2本を取り外し、レッグシールドステーを取り外す（スーパーカブ110の場合）。

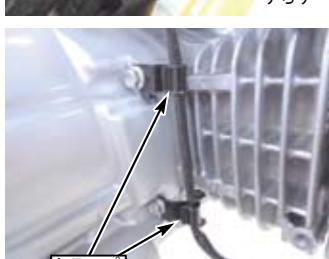


- ◇スクリュー / ラバーワッシャを取り外す（クロスカブ110の場合）。

- ◇右側のボディーカバーを破損に注意してずらす。O₂センサーの配線のカプラの接続を外し、配線をクランプから取り外す。



- ◇カプラ
- ボディーカバーをずらす



- ◇配線クランプを取り外し、ボルトを取り外してセンサーガードをシリンダーから取り外す（クロスカブ110の場合）。



- ◇シリンダーの油温センサーのカプラの配線を外す。油温センサー及びシーリングワッシャを取り外す。



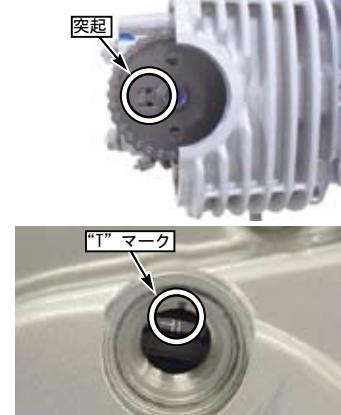
- ◇タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップを取り外す。



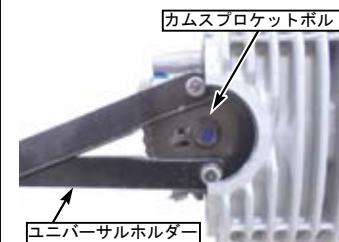
- ◇ヘッドカバーのボルト / マウントラバー2箇所を取り外しヘッドカバー / ガスケットを取り外す。



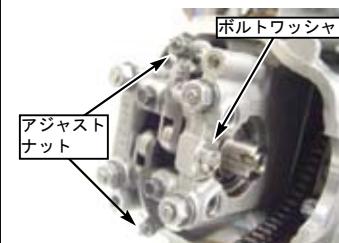
- ◇クランクシャフトを反時計方向に回し、カムスプロケットの突起が前方を向いている状態で、フライホイールの“T”マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせる。



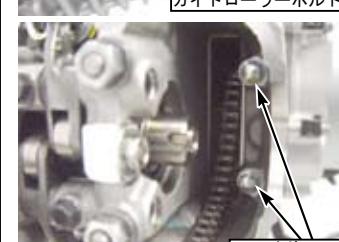
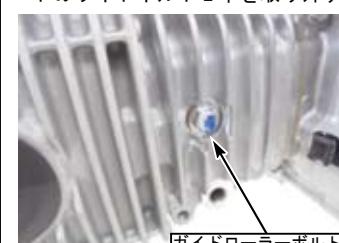
- ◇ユニバーサルホルダーにてカムスプロケットを固定し、カムスプロケットボルトを取り外し、カムスプロケットを取り外す。



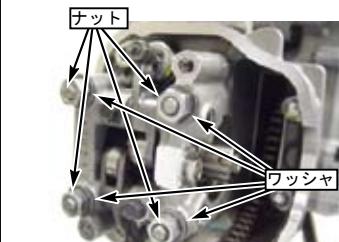
- ◇インテーク、エキゾースト共にロッカーアームのアジャストナットを緩め、アジャストスクリューを緩めておく。ボルトワッシャを緩めておく。



- ◇シリンダーのガイドローラーボルトを緩めておく。シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り外す。



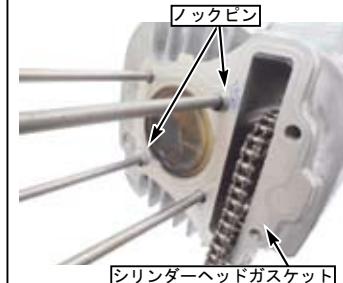
- ◇シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて緩め、シリンダーヘッドナットと共にワッシャ4個を取り外す。



- ◇シリンダーヘッドを取り外す。

●シリンダー、ピストンの取り外し

- ◇シリンダーヘッドガスケットとノックピン2個を取り外す。



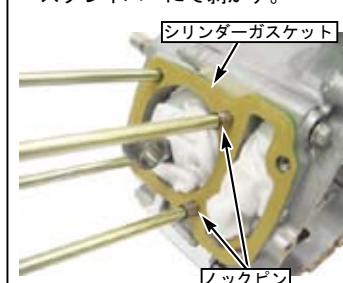
- ◇シリンダーのガイドローラーボルト / シーリングワッシャを取り外し、ガイドローラーを取り外す。



- ◇シリンダーを取り外す。
◇ピストンピンサークリップの片側を外し、ピストンピンを取り外す。



- ◇シリンダーガスケットとノックピン2個を取り外す。クランクケースにシリンダーガスケットがこびり付いている場合は、スクレイパーにて剥がす。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

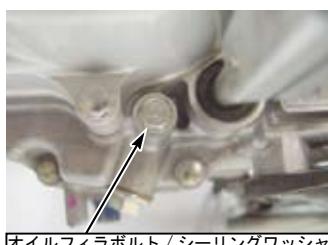
◇ユニバーサルホルダーにてカムスプロケットを固定し、カムスプロケットのボルトを規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク : 27N・m (2.8kgf・m)

◇クラシックシャフトを反時計方向に回し、フライホイールの“T”マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせ、カムスプロケットのタイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っている事を確認する。

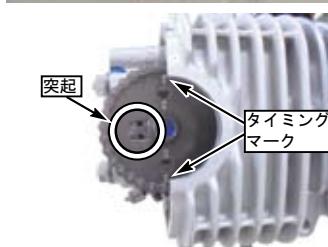
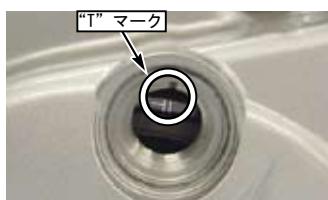
◇ボルト穴にエンジンオイルを少量注入し、オイルフィラーボルトとシーリングワッシャを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
オイルフィラーボルト
トルク : 10N・m (1.0kgf・m)



●バルブクリアランスの調整

◇フライホイールの“T”マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせたときにカムスプロケットの突起が前方を向き、且つタイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っている事を確認する。



◇ロッカーアームのアジャストスクリューとバルブステムエンドの間に0.1mmのシックネスゲージを差し込み、アジャストスクリューを締め込んでいき、シックネスゲージが少し抵抗があるくらいで引き抜けるぐらいに合わせてアジャストナットを締め付ける。

バルブクリアランス
: IN、EX 共に 0.1mm

△注意：必ず規定トルクを守る事。
アジャストナット
トルク : 9N・m (0.9kgf・m)



◇バルブクリアランス調整後、反時計方向にフライホイールを2回転回した後で“T”マークとタイミングマークをそれぞれ合わせ、バルブクリアランスが変化していないか点検する。

変化している場合は再度調整し、合うまでこの作業を繰り返す。

◇ヘッドカバーにガスケットを取り付け、ガスケットの画像に記す隅部分にシール剤を塗布する。
シール剤
: スリーボンド 1215 又は相当品



◇ヘッドカバー / ガスケットをヘッドカバーのボルト / マウントラバー2箇所にて取り付け、規定トルクにて締め付ける。

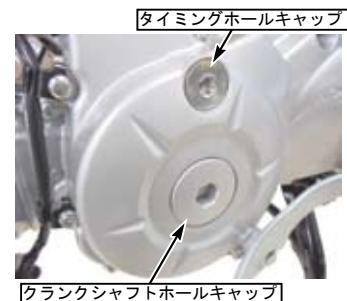
※マウントラバーは“UP”マークを上に向けて取り付ける事。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト / マウントラバー
トルク : 10N・m (1.0kgf・m)



◇タイミングホールキャップ及びクラシックシャフトホールキャップに0リングが付いている事を確認して取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
タイミングホールキャップ
トルク : 10N・m (1.0kgf・m)
クラシックシャフトホールキャップ
トルク : 8N・m (0.8kgf・m)

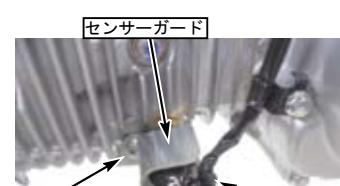


◇油温センサー及びシーリングワッシャをシリンダーに取り付け、規定トルクにて締め付ける。油温センサーのカプラの配線を接続する。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
油温センサー / シーリングワッシャ
トルク : 14N・m (1.4kgf・m)



◇ボルトにてセンサーガードをシリンダーに取り付け、配線クランプを取り付ける（クロスカブ110の場合）。

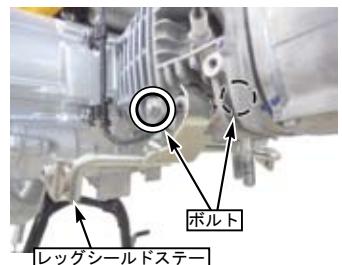


◇ 0_2 センサーの配線のカプラを接続し、配線をクランプに取り付ける。



◇レッグシールドステーをボルト2本で取り付け、規定トルクにて締め付ける（スーパーカブ110の場合）。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク : 10N・m (1.0kgf・m)



●インシュレーター / スロットルボディー / エアクリーナーケースの取り付け

◇インシュレーター / スロットルボディー / エアクリーナーケースをエンジンとフレームの間にセットする。

◇インシュレーターをボルト2本にてシリンダーヘッドに取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク : 12N・m (1.2kgf・m)



◇エアクリーナーケースをボルト2本にてフレームに取り付ける。ワイヤーハーネスクランプを取り付ける。



◇インジェクタ2Pカプラ、IACバルブ4Pカプラ、センサーユニット5Pカプラをそれぞれ接続する。

※FIコントローラー取り付けの際はその取り扱い説明書に従う事。



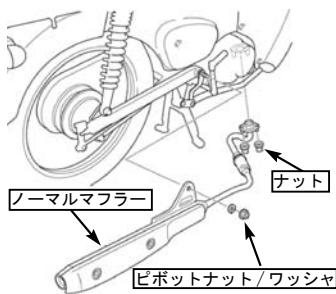
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●(ノーマル) エキゾーストマフラーの取り付け

※エキゾーストマフラーがノーマル品から変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従う事。

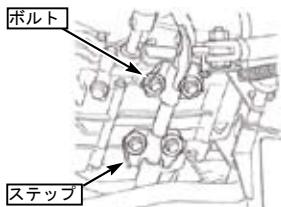
- ◇ピボットボルトを押し込み、ノーマルマフラーをセットし、ヘッド側のエキゾーストパイプナット2個とピボットナット/ワッシャを仮止めする。
仮止め部を規定トルクにて締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
エキゾーストパイプナット
トルク : 27N・m (2.8kgf・m)
ピボットナット
トルク : 59N・m (6.0kgf・m)



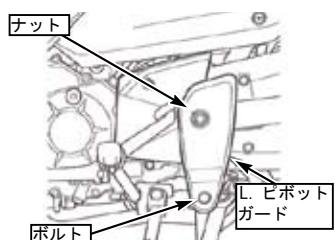
- ◇ボルト4本を対角に数回に分けて締め付け、ステップを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク : 27N・m (2.8kgf・m)



- ◇ボルト及びナットを取り付け、L.ピボットガードを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク : 39N・m (4.0kgf・m)
ナット
トルク : 27N・m (2.8kgf・m)



●外装部品の取り付け

- ◇純正サービスマニュアルを参考にして各カバーを取り付ける。